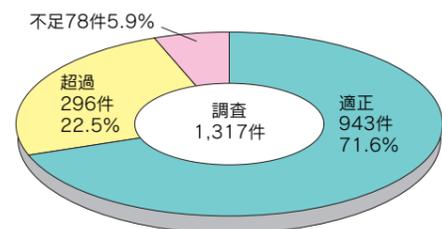


# 正しく量って安心した

# 暮らしを

## 6月は計量管理強調月間です

計量モニター調査結果



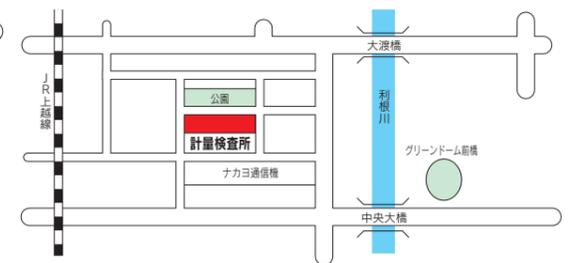
適正…プラス4%～マイナス2%  
 超過…プラス4%を超える  
 不足…マイナス2%を超える

### 計量モニターがチエック

公募した市民20人が、小売店やスーパーで買った日常の食品などの

### 家庭用計量器は無料検査で

市では家庭で使っている計量器の無料検査も行っています。体温計・血圧計・ヘルスマーター・キッチンスケールなどが対象。検査を希望する場合は、計量検査所へ検査の予約をするか各公民館などで行う無料検査を利用しましょう。



スーパーでの食品詰め込みや、タクシーの料金計算、体温計・血圧計での健康チェックなど計量はわたしたちの身近なところで行われています。こうした計量が正しく行われることが、日常生活を守っているといえるでしょう。今回、正しい計量が行われるために、はかりの定期検査などを行っている計量検査所でお話を聞きました。(担当は市民編集員・石原、諸岡)

問い合わせは計量検査所 ☎0570-221188へ。

### 身の回りの計量器 正確ですか

取引や証明に使われるはかりは、製造後、国や県などが構造や誤差が基準に適合しているかどうか検査します。しかし、こうしたはかりも、長い間使っているうちに誤差が出てしまうことも。商店や病院などで、誤差のあるはかりが使われては大変。そこで、2年に1回の定期検査を受けることが計量法で決められています。

### はかりに分銅を載せて検査

はかりの検査は、はかりに分銅を載せて行います。載せる分銅は、そのはかりが量ることができる最大の



合格シール (平成19年5月)

内容量を2カ月間計量。日誌に記録して、結果を報告します。昨年度に計量モニター20人が調査した結果は上グラフ表のとおりです。商品別では、野菜やめん類に超過が多く、魚介類や総菜に不足が目立ちました。不足の原因は、トレーやタレなどの風袋を内容量に含めていたことや、自然乾燥による目減りを見込んでいないことによるものでした。

### スーパーなどにパブリックスケール

買い物した商品の重さを量ることができるはかりが市内12カ所。スーパーなどのレジ近くに設置してあります。買い物した商品の重さを量ってみましょう。

### 楽しいイベントに家族や友人と参加

計量の大切さや量ることの楽しさを多くの人に知ってもらおうと、さまざまなイベントを開催します。今年も夏休みには家族で楽しく学べる「はかり勉強室」を、9月にはふれあいバザールで計量感覚テストなどのイベントを行う予定です。そのほかにも、ポスター、絵手紙、標語、

重量を載せます。例えば2000キログラムのはかりを検査する場合、最初に200キログラムの分銅ではかりの動きを見ます。次に2000キログラムと半分の1000キログラムの分銅で3〜5回繰り返し載せて誤差を確認。最後に5000キログラムの分銅を台の4隅に載せます。こうして検査に合格したはかりには、合格シールが張られます。計量検査所では、市内を2分割し隔年ごとに検査をしています。

### 市内のはかりも世界共通に

市内で1キログラムの重さの物が、世界のどのはかりでも量っても1キログラムのは、世界標準の原器があるため。フランス・パリにある「国際キログラム原器」と同じ重さの原器を世界各国が持つことによって、同じ重さが保証されています。

日本にも原器がつくば市の産業技術総合研究所にあり、これと調整した基準器や分銅が本市の計量検査所にあります。市内のはかりも計量検査所の分銅などによって検査されています。計量検査所の分銅にも誤差が出る場合があるため、定期的に分銅などをつくば市の産業技術総合研究所に運んで検査をしているそうです。



昨年9月のイベントで

川柳などのコンクールを毎年、趣向を変え実施しています。

### 日ごろから計量に関心を

スーパーで買い物した肉のグラム表示やガソリンスタンドのメーター表示を疑ったり、気にしたりすることは少ないのではないのでしょうか。確認することにも限界があります。計量に関心を持って消費者の立場から監視の目を光らせることも必要です。計量検査所では、計量についての相談や施設見学も行っています。計量に疑問があった場合や知りたいことがあるときは、気軽に計量検査所へ問い合わせましょう。